

(3) 進級・卒業の要件等

ア) 出席率の計算

本校は1年間の「出席すべき授業」を864時間としています。これに対して講義形式、実習形式、演習形式の授業、学校行事・校外学習・イベントを含めた1年間の授業に出席した時間数が「出席した授業の回数」として出席率が計算されます。

イ) 授業科目の種類

授業科目は以下の3つの種類に分けられます。

授業科目の種類	場所	平常点	期末試験
講義	座学教室での講義	出席時間＋小テスト	筆記試験
実習	実習室使用	出席時間＋課題提出	課題提出
演習	科目によって異なる	レポート提出など	レポート提出など
学校行事など	行事によって異なる	レポート提出など	レポート提出など

ウ) 成績評価の要素と成績点の算出方法

各授業の成績は、1) 平常点、2) 期末試験を足した成績点として数値で評価されます。

1) 平常点

平常点とは各科目の授業に参加した証として出席時間だけでなく、小テスト・課題・レポート提出などを加えた点数です。

2) 期末試験

前期末（7月）と後期末（2月）に実施される期末試験では各科目の試験を実施します。期末試験の結果と平常点を合わせたものが科目成績となります。

3) 成績評価の方法

各科目の成績点は秀、優、良、可、不可の5段階で評価されます。単位を取得できるのは秀、優、良、可の4つです。不可の場合は単位が与えられません。

秀	90 点以上
優	75 点以上 ～ 89 点以下
良	60 点以上 ～ 74 点以下
可	50 点以上 ～ 59 点以下
不可	50 点未満

各科目の成績評価は、秀＝4、優＝3、良＝2、可＝1、不可＝0 として成績評価平均点（GPA）を算出し、クラス替えや大学推薦、奨学金対象者選考などの参考値とします。

エ) 進級・卒業の要件

本科に2年以上在学し、所定の授業科目を履修し、試験に合格し所定の単位を取得した者を卒業とし、卒業証書を授与します。

進級・卒業の要件は、(a)出席率と(b)成績です。

(a) 出席率 80%以上、出席すること

進級または卒業するためには出席率(時間数)が80%以上である必要があります。出席率が80%に満たない学生は特別授業の対象となります。また極端に出席率の悪い学生は卒業不認定となります。

(b) 80% (1 学年 39 単位) 以上の単位を取得すること

各科目には単位という数字がついており、「可」以上の成績を取得することで単位を得ることができます。本校の専門課程では1年間に48単位以上を取得します。進級または卒業するためには48単位のうち80%(39単位)以上取得する必要があります。

オ) 専門士および高度専門士の称号付与

「専門士」は短期大学卒業と同格 ～大学3年次編入が可能～
(情報システム学科、Web ビジネス学科、情報ビジネス科の各卒業生)

平成10年6月に学校教育法が改正され、平成11年4月から専門学校修了者が大学の2年次または3年次に編入学出来るようになりました。編入学出来る資格は、専門課程の修業年限が2年以上で、総授業時間数1700時間以上の場合です。

これまで、専門学校を卒業後、大学に入学しようと考えている学生は、大学1年次から入り直さなければならなかったのが改善され、これによって専門学校は法律的にも短大と同格となり、名実共に高等教育機関として位置づけられることになりました。

「高度専門士」は大学学部卒業と同格 ～大学院入学資格が付与～
(IT プロフェッショナル学科卒業生)

平成17年9月9日に施行された「専門学校の専門課程の修了者に対する専門士及び高度専門士の称号の付与に関する規定」により、専門課程の終業年限が4年以上で、総授業時間数3400時間以上の場合は、高度専門士の称号が付与され、大学院入学資格が与えられます。中央情報専門学校のITプロフェッショナル学科がこれに該当します。

高度専門士の称号を持つことで大学院入学資格が自動的に与えられ、これによって専門学校は、大学学部と同格の高等教育機関として位置づけられるようになりました。